

CITATION:Hancock EC, Cross JH. Treatment of Lennox-Gastaut syndrome. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2013, Issue 2. Art. No.: CD003277. DOI: 10.1002/14651858.CD003277.pub3.
CRG名: Epilepsy Group .

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 15 January 2013
Clib issue No.;N/U:2013 Issue 2; Update

アブストラクト

背景:レノックス・ガストー症候群(LGS)は、年齢特異的な疾患であり、てんかん発作、特徴的な脳波(EEG)所見、精神運動発達遅滞および行動障害を特徴とする。男性により高頻度でみとめられ、通常、8歳までに発症し、ピークは3歳~5歳の間である。思春期および成人早期に発症する遅発例はほとんど報告されていない。言語が影響を受けることが多く、運動機能障害に加えて、観念化および表現のいずれも遅い。重度の行動障害(例、運動亢進、攻撃性および自閉傾向)ならびにパーソナリティ障害がほぼ常に認められる。また、時間の経過とともに精神病を発症する傾向もある。長期的予後は不良である。てんかんはしばしば改善するが、完全な発作消失は稀であり、対照的に精神障害が時間の経過とともに悪化する傾向にある。

目的:けいれん発作および有害作用のコントロールの観点から、LGSの治療に使用する薬物療法の効果を比較する。LGS患者の多くは、試験への登録時点でその他の抗てんかん薬をすでに服用していると予想される。しかし、本レビューでは、試験の対象となった単一の治療薬(多くの場合にはアドオン療法として)の効果のみを考慮する。

検索戦略:Cochrane Epilepsy GroupのSpecialised Register(2012年10月18日)、Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL、コクラン・ライブラリ2012年12号のうち第10号)およびMEDLINE(1946年~2012年10月第2週)を検索した。また、EMBASE(1980年~2003年3月)も検索した。言語に制約は設けなかった。継続中の試験については、International Standard Randomised Controlled Trial Number(ISRCTN)register(2012年10月18日)を検索し、加えて、未発表また継続中の研究を発見するため、製薬会社および同分野の研究者に対して問い合わせを行った。

選択基準:LGS患者に対する薬物療法に関するすべてのランダム化比較試験(RCT)。

データ収集と分析:レビューア2名が独立してデータを抽出した。解析では、研究の質に関する評価のほか、全けいれん発作の発生率に対する効果、ならびに特定の発作型(例、点頭発作)に対する効果、有害作用および死亡率について統計解析を実施した。

主な結果:9件のRCTを特定したが、各試験で対象集団、治療法および評価したアウトカムが異なることから、メタアナリシスの実施は行う事ができなかった。

レビューアの結論:LGSに対する最適な治療法は依然として不明であり、現在までのところ、特定の薬剤の有効性が極めて高いことを示した研究は存在しない。ルフィナミド、ラモトリギン、トピラマートおよびフェルバメートはアドオン療法として有効な可能性があり、クロバザムは点頭発作に対して有効な可能性がある。さらなる研究が実施されるまで、臨床医は、各治療法の潜在的利益と有害作用リスクを比較・考慮しながら、引き続き各患者を個別に検討する必要がある。

レノックス・ガストー症候群の治療

現在までのところ、レノックス・ガストー症候群に対する最適な治療法は明らかになっていません。レノックス・ガストー症候群は、行動やメンタルヘルスの問題を伴うことが多いけいれん発作(てんかん)性の障害です。現在、同症候群に対してさまざまな異なる治療法が使用されています。また、過去には、さらに多くの治療法が試みられてきましたが、その多くはあまり成功していません。臨床試験のレビューからは、いずれかの薬剤がほかの薬剤と比較して、さまざまな種類のけいれん発作をコントロールするという観点から、同症候群の治療において有効であるというエビデンスは得られませんでした。現在利用可能な治療法を比較するさらなる研究が必要です。

(監訳 三浦 智史)

翻訳公開日:2014年 6月 24日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。